

令和2年度 自己評価結果公表シート

大阪東邦幼稚園

1、本園の教育目標

幼児教育を人間形成・すべての教育における土台として認識し、

- ・健康で明るく、友だちと仲良く遊べる子ども
- ・色々なことに目を向け、よく考え、最後までやりぬく子ども
- ・素直で、生き生きとした心豊かな子ども
- ・ルールを守り、礼儀作法を身につけた子ども
- ・他を思いやる優しい心を持った子ども

を育成する

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標を教職員が再認識し、内容の充実に取り組んだり、研修を通して自己研鑽意識を高めたりして、教育・保育の質を高める。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育目標を踏まえた指導計画の作成と実施	コロナ禍ではあったが、教育目標と子どもの実態、興味・関心を踏まえた計画を立て、必要に応じて修正し、日々の保育の中で実践することが出来た。
オンライン研修も含め、研修会に積極的に参加し、幼児教育・保育の質を向上させる。	幼児一人一人の本質的な姿を捉えるため、保育者が専門性を高めたり、研修を積極的に受講したり、発達を捉えるための視点を専門家から学ぶことができた。
食育についての取り組み	よい子の観察菜園での野菜づくりにかかわることで、命の大切さや感謝の心を学ぶだけでなく、栽培・収穫を行うことで、子どもたちの食への関心をより深めることができた。
保育環境の整備	子どもたちの保健衛生への意識づけや安全確保のみならず、彼らの発達を促すような環境整備を心掛けている。また、火災・地震・津波を想定した避難訓練を定期的に行うだけでなく、非常通報装置や防犯カメラなども最新のものに交換するなど、適宜改善す

ることができている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価の検証により、全教職員が取り組まなければならない課題を見つけることが可能になった。そして、その課題を解決する話し合いが教育目標の達成に役立った。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
感染症への対策強化と質の向上	未曾有の感染症への対応について、従来の保健計画を軸に日々研究し最良の策をとる。
「子ども・子育て支援新制度」等について	「子ども・子育て支援新制度」や「保育料の無償化」だけでなく、子どもを取り巻く動きについて、国や地方自治体と連携をとり、正確な情報を収集する。そして、建学の精神に則った保育・教育をどう提供することができるのかを検討する。

6、学校関係者の評価

コロナ禍ではあるが、教職員みな子ども一人ひとりを把握し、教育目標を達成すべく、日々保育に前向きに取り組んでいることがわかる。

子どものよりよい発達を促すためにも家庭との連携をより密にし、これからも努力して欲しい。

7、財務状況

公認会計士の指導監督によって行われている会計監査において、健全経営により、財務状況は適正であると評価されている。